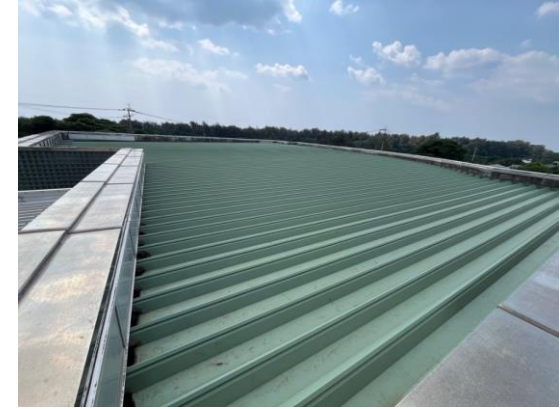




宇宿貝塚史跡公園観光拠点再整備事業 【デジタルコンテンツ整備業務】 サウンディング調査資料



宇宿貝塚遺跡公園の概要



宇宿貝塚は、鹿児島県奄美市笠利町宇宿にある縄文時代から中世にかけての複合遺跡である。縄文時代の石組の竪穴建物跡や貯蔵穴、中世の土坑墓などの遺構や土器、石器や骨角器、貝製品などの遺物が発見され、昭和61年（1986）10月7日に国史跡に指定された。



宇宿貝塚史跡公園は、国史跡「宇宿貝塚」に整備された施設である。この公園は、発掘調査で発見された遺構・遺物や調査の跡を埋め戻さずに露出展示している。



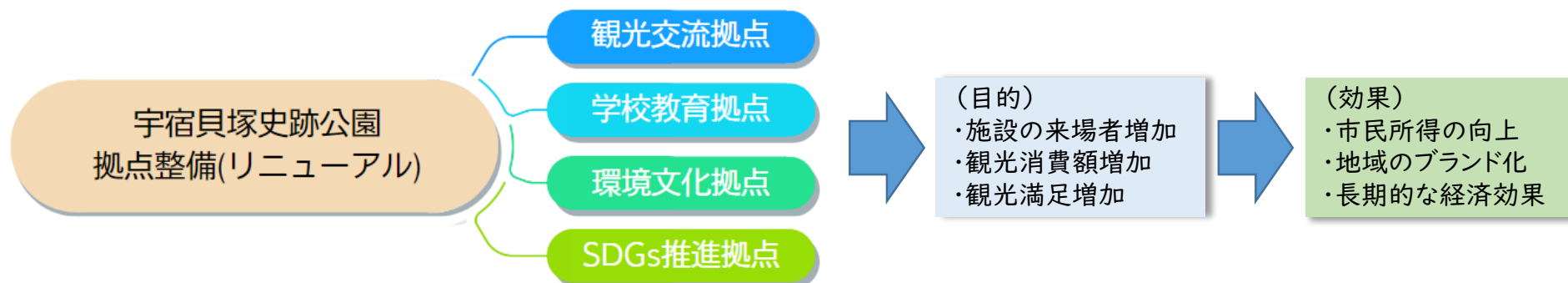
(地域の課題)

- 1.観光資源の掘り起こし、観光コンテンツの充実、所得の向上、観光客の満足度向上、遺産地域への環境負荷
- 2.歴史・文化・自然の学習機会の提供や情報発信不足及び地域の魅力・歴史的価値の認識不足



SDGsの理念を導入し 課題解決を図りたい

サステナブルな縄文時代の生活様式を今に伝える「**宇宿貝塚史跡公園**」において、自然・動植物とそこに暮らす人々が共存共生し、環境に負荷をかけない『**縄文生活**』世界に誇る自然環境・生物多様性と歴史が共に歩み、新しい価値を創造する『**環境文化**』の思想哲学のもと、観光の拠点となる施設を整備する。



これまでの経緯

宇宿貝塚史跡公園は、平成16年2月9日に開園し、今日に至るまで、史跡宇宿貝塚への理解を促す場所として位置づけられてきた。

開園20年が経ち、史跡公園の史跡保護覆屋施設各所の経年劣化が見られ、雨漏りなどの課題があった。そこで、令和4年度に「宇宿貝塚保存活用計画」を作成し、史跡宇宿貝塚の恒久的な保存・管理と将来的な活用・整備に関する方針を定めた。

令和5年度に奄美市が「SDGs未来都市」に選定されたことにより、令和6年度から「宇宿貝塚史跡公園リニューアルに伴うSDGs加速化事業」を実施し、照明設備の更新、スペースの整備、シューケースの導入、紹介パネル等の展示の充実を図った。

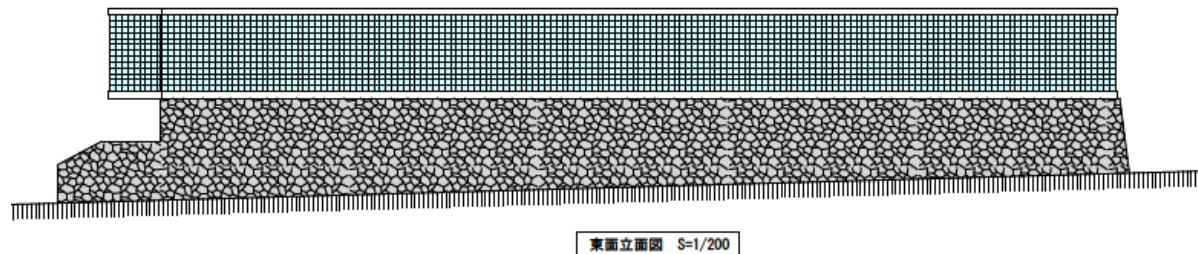
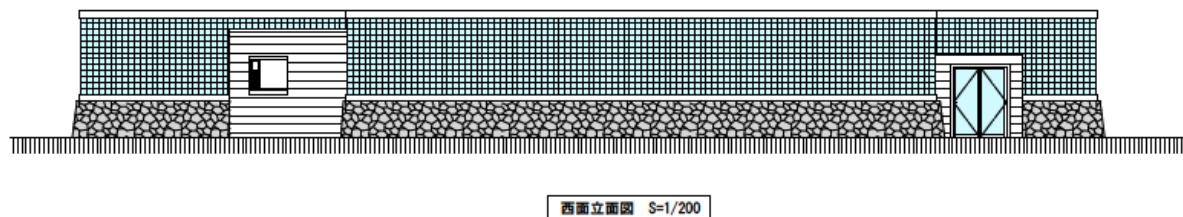
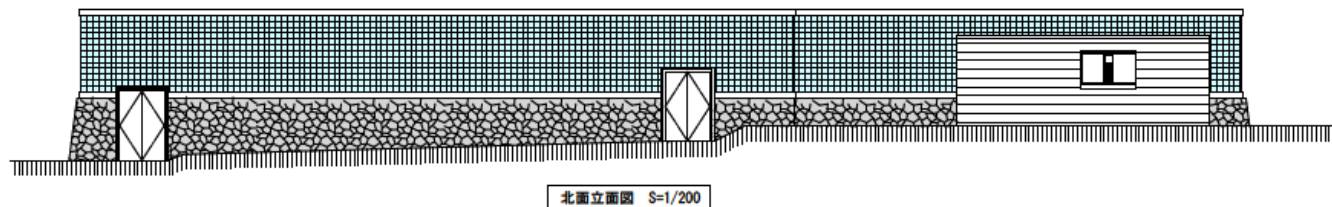
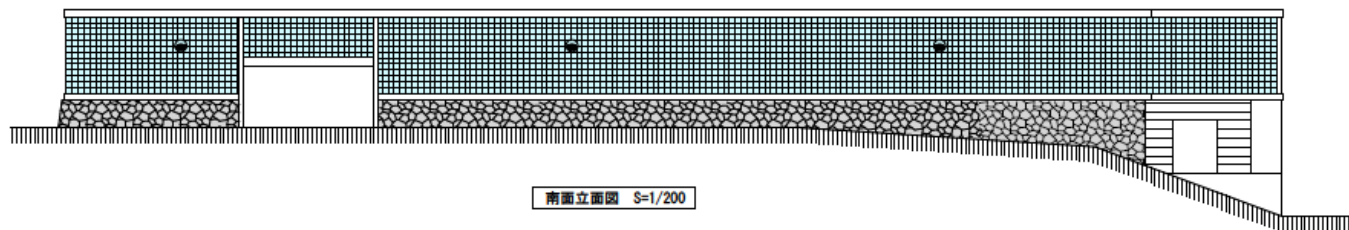
また、今年度の宇宿貝塚史跡公園観光拠点再整備事業において、施設の屋根・外壁改修を行うとともに、プロジェクションマッピングが投影できる仕様に整備する。

以上の経緯により、奄美大島内外からの来園者の満足度向上と史跡の理解を高めていくとともに、幅広い世代の交流を促し、質の高いサービスを継続的に提供する施設として、仮想空間上でリアルな学びや体験を可能とするVRの導入や屋内プロジェクションによるダイナミックな映像等で再現するデジタルコンテンツを導入する。

(予定している整備概要)

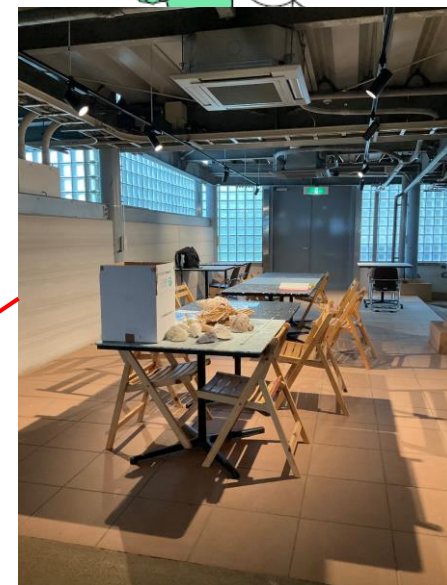
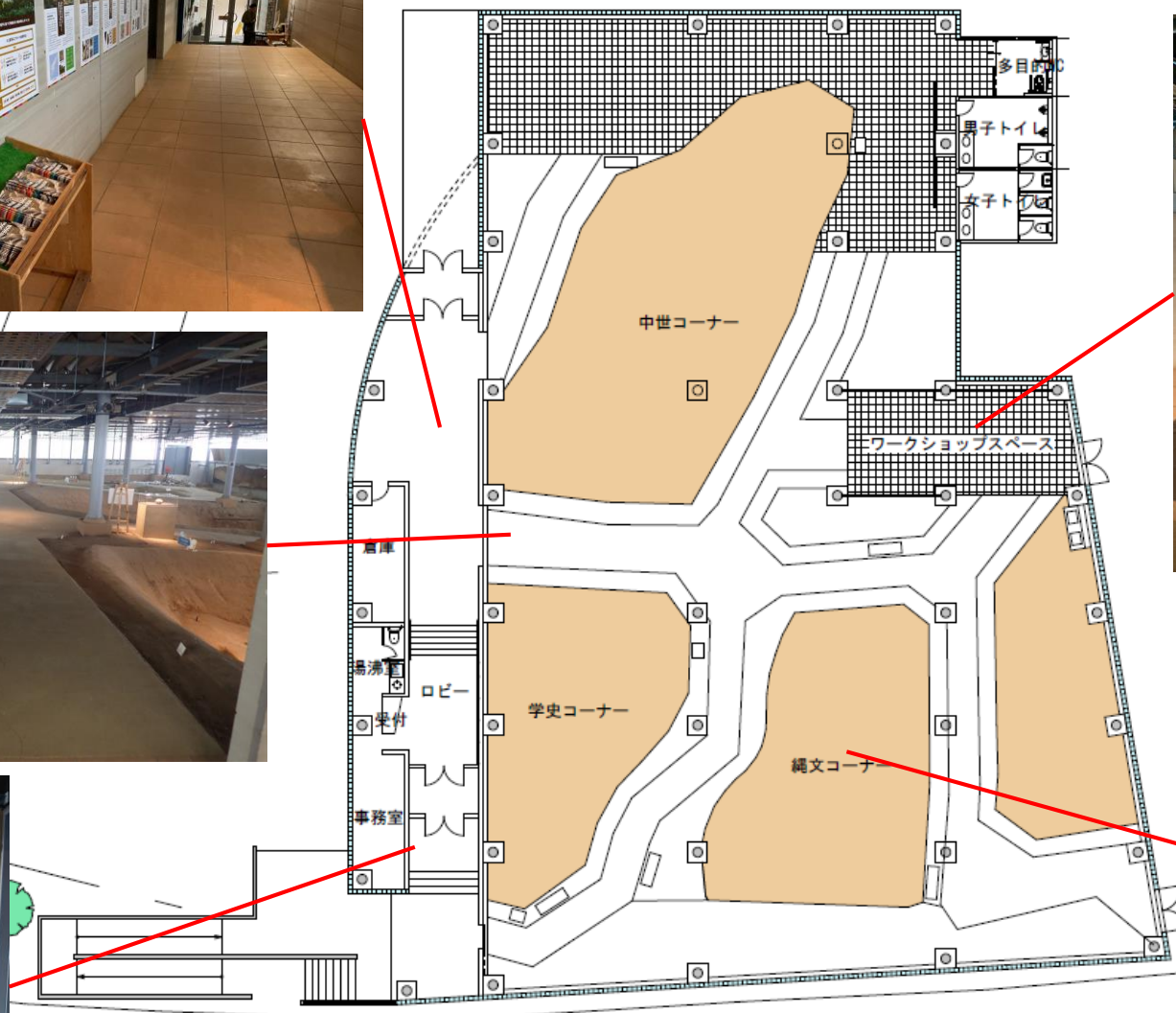
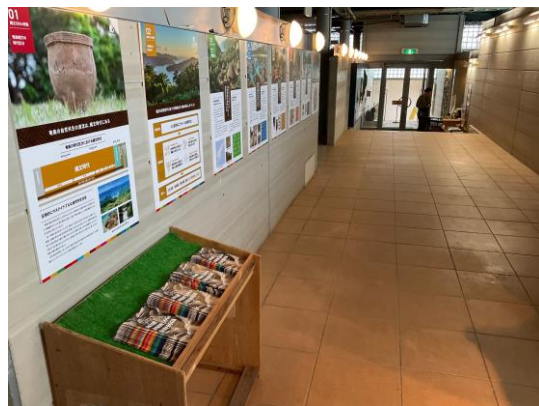
- (1) 宇宿貝塚史跡公園史跡保護覆屋施設における屋内プロジェクションの整備
- (2) 宇宿貝塚史跡公園史跡保護覆屋施設におけるVR(仮想現実)の整備
- (3) デジタルコンテンツの利用に伴うWi-Fiの整備

宇宿貝塚史跡公園立面図



〈既存〉外部仕上げ表	
構造	鉄骨造
屋根	折半二重葺きH=148
	断熱材：グラスウール充填7)50mm
バラベツト	立ち上がり壁：コーラル貼り
外壁	腰壁：コーラル貼り
	ガラスブロック190角 t=125mm
	ベルダN1533 7)15mm素地仕上げ

宇宿貝塚史跡公園平面図



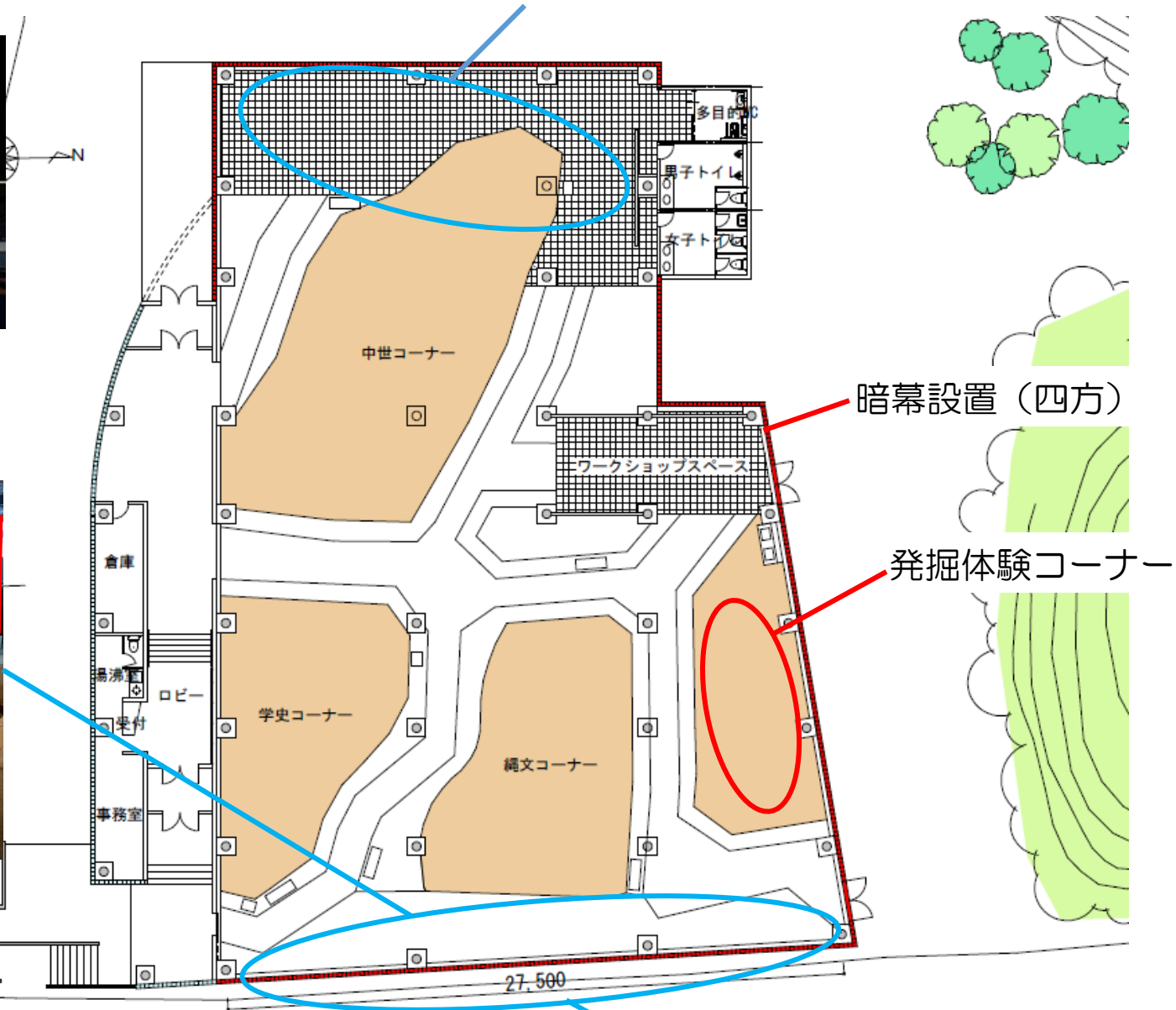
構造	敷地面積	建築面積	延床面積
鉄骨造平屋建て	3,785 m ²	1,145 m ²	1,124 ⁷ m ²

宇宿貝塚史跡公園デジタルコンテンツ整備(案)

VRコーナー



プロジェクション
投影予定箇所



屋内プロジェクション
(W27.5×H2.5=68.7㎡程度)

宇宿貝塚史跡公園デジタルコンテンツ整備業務実施スケジュール(案)

内容	日付
プロポーザル募集開始	令和7年7月1日(火)
質問受付期間	令和7年7月1日(火)～7月11日(金)
質問回答	令和7年7月16日(水)
参加表明書提出期限	令和7年7月25日(金)
プロポーザル募集締め切り 企画提案書提出	令和7年8月15日(金)
プレゼンテーション及び審査会	令和7年8月中旬
優先交渉権者決定	令和7年8月中旬
契約締結	令和7年9月上旬
業務委託実施期間	令和7年9月上旬～令和8年3月27日(金)

・令和7年10月頃から、宇宿貝塚史跡公園改修事業(ハード整備)も実施するため(～令和8年3月31日)、改修事業と連動した事業実施を目指すこと。

事業者の皆様へお伺いしたいこと

- ①本事業実施に際し、監修委員会を設置するが、監修内容を十分に反映することが可能か。
- ②宇宿貝塚史跡公園の特徴や奄美縄文の特徴等を踏まえたうえで、縄文時代や中世の世界観を再現する魅力ある映像コンテンツの制作及びプロジェクターの設置が可能か。
- ③仮想空間による縄文及び中世のリアルな体験を提供するVRの制作及び機器の導入が可能か。
- ④デジタルコンテンツにより、観光客、地元の住民や学生、グループの満足度向上につながる提案が可能か。
- ⑤本事業が令和8年3月までに完了する見込みについて。
- ⑥事業費上限額内で本事業の実施が可能か。
- ⑦本事業への参入可能性について。